

令和7年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	やまがた“私たちの”青少年育成運動事業
事業主体 (連絡先)	山形村 山形村子育て支援課 0263-98-5600
事業区分	教育、文化の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	814,206 円 (うち支援金: 610,000 円)

事業内容

地域住民ボランティアや地元中学生（組合立鉢盛中学校）が、青少年健全育成に関わる啓発ツール（テレビ CM、ティッシュ、ポスター）を制作。事業を通して青少年健全育成への理解を深める。

- ・プロジェクト参加者の募集 *6月～随時
- ・CM制作ワークショップ *7～10月 計6回
- ・エコナティッシュ制作
 - －中学生へのレクチャー *10月14日
 - －デザイン募集 *10～1月 計10デザイン提供
 - －デザイン選考 *1月15日 3デザイン選考
- ・エコナティッシュ配布 *3月4日（鉢盛中学校にて）



【CM制作ワークショップの様子】

【目標・ねらい】

- ①青少年健全育成事業の増加
- ②青少年健全育成への関心の向上
- ③多世代住民の交流、協働

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①本事業の実施により、R7年度まではほぼ実施のなかった青少年健全育成関係事業がR8年度2件に増えた。
- ②地域住民、中学生が活動を通して様々な意見交換、発信を行う場面があり、青少年健全育成への関心・興味の高まりを実感している。
- ③地域住民ボランティアは10代～50代と幅広い世代が参加しており、世代の異なる住民の交流やワークショップを中心とした協働を行うことができた。

※自己評価【 B 】

【理由】

当初想定していた人数より参加者数は少なかったものの、活動は全て順調に実施することができた。よって、予定していた効果は得られたものとする。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。（今後の事業展開、取組の継続に向けた財源確保など）。

今年度一定の成果は得られたが、参加者数が少なかったこと等課題も多い。来年度以降は今年度の取り組み内容を振り返りながら、より効果の高い事業となるよう工夫したい。

2年目となる令和8年度以降は、地域の青少年（中学生）が通う鉢盛中学校の校区である山形村、朝日村、今井地区の2村1地区に活動を広げ、中学校を中心に据えた地域全体の活動として取り組んでいくことを予定している。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある